

りとせ相模大野保育園

子育て支援広場 子育て情報 令和8年2月号



新年を迎えたと思ったら、2月3日には立春を迎え暦の上では春がやってきます。保育園では、子どもたちが節分に向けて鬼のお面作りをしたり「豆まき」の歌を歌ったりと元気いっぱいに楽しんでいます。また、幼児クラスでは14日の発表会に向けて、歌や劇の練習で活気にあふれ盛り上がっています。子どもたちのパワーと成長ぶりには驚かされるばかりです。発表会当日も楽しみです。

りとせ相模大野保育園では、子育て支援や交流を行いながら、地域の子育て世代の親子と園児が楽しく過ごす機会を提供しています。毎月第三火曜日には司書による読み聞かせを行っております。園児たちと一緒に様々な絵本の世界を覗いてみませんか。お待ちしております。

※読み聞かせのご予約は園にお問い合わせください。

【子どもたちの食具について】 第2弾

☆フォークを使い始める時期(1歳半頃～)☆

指先のコントロールが少しずつ育ち、フォークで食材を刺して食べる楽しさを感じられるようになります。フォークは安全性の高い丸い先端のものを選ぶと安心です。柔らかい食材からチャレンジしていくことで「自分で食べられた!」という達成感を得やすくなります。スプーンと組み合わせて使うことで、手先の器用さも育っていきます。

☆箸への移行(3歳前後～)☆

箸は指先の発達・姿勢の安定・道具の操作力が求められるため、焦らずその子のペースに合わせて進めることが大切です。はじめは補助具付きの箸を使って動きの感覚をつかんだり、つまむ・はさむ遊びを日常に取り入れたりするとスムーズに移行できます。無理に使わせるよりも、「やってみたい」という意欲を大切にしましょう。

※第3弾もお楽しみに!!

1歳から2歳頃の子どもたちは・・・

概ね1歳半を過ぎる頃から、子どもたちは目の前に無いものを想像する新しい力を獲得していきます。積み木をおやつに見立てて食べる真似をしているのは、イメージする力が発揮されていると解釈できます。1～2歳頃は、テレビやタブレットが無くて自分で遊びを作りだす力が豊かです。子どもたちが自分で環境に働きかけて学習できる貴重な時間をテレビなどに使うのはもったいないとも考えられます。

この時期に伸びる想像力は、人の気持ちを推測する力、先のことを考えたりする計画性、一つのことを他のことに応用する力、柔軟性や困難や脅威に直面したときに適応して回復する力など、様々な能力に繋がっていくともいわれています。この時期に伸びる想像力は、子どもたちにとってこれからの人生の幸せに繋がる力です。

子どもが一人で集中して遊んでいる時はそっと見守り、想像力を働かせてお皿に積み木をのせて持ってきた時には、「いただきます!」とモグモグ食べる真似をして「おいしいね」と、一緒に想像遊びを楽しんでみてください。子どもたちはとても嬉しそうな表情を見せてくれると思います。

大人は、子どもたちが自ら働きかけることができる環境を整えることを楽しんでみてはいかがでしょうか。

育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか?りとせ相模大野保育園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。

お待ちしております。

〒252-0303

相模原市南区相模大野3-14-2 4階

TEL 042-705-5311